いまだ多く残っています。その商店街活動 も全国各地の商店街同様に大手流通複合型 ア 1 フェスタ勝負市 ぎやかなイベントです。 見本市で全国各地から多数の作家さんが花 3大学の学生、市民が運営する「アートフェ しょうぶ通り一帯に店を出店するとてもに スタ勝負市」は、手作りアート・クラフトの 取り組みの一つである地元商店街、 めての開催から10

ショ 実施しました。「百の愚痴より十の提案、十 したファサード整備 (店舗前面部統一化)を のTMO計画事業により古い町並みを活か しい街 花しょうぶ通り」に基づき、全国初 大学生が発案したコンセプト「ふるあたら 岐にわたる連携を模索し、まず最初に地元 が失われていきました。 移店 いこと、楽しいことをどんどん実現してき の提案より一の実行」をスローガンに、面白 このような状況の中で、地元大学との多 受動し、急激な来訪者の減少に伴って活力に集積力の大きい郊外へ商業機能の中心が、コッピングセンター等の出店が続き、商

和蝋燭や糀屋といった城下町特有の業種もす。200年を超える伝統的商店もあり、

滋賀県彦根市内で最も歴史のある商店街で

花しょうぶ

通

り商店街は、

城下町である

画

の寺子屋として、学生が先生になって地元力石」として開設しました。これは、現代版から寺子屋であった建物を「街の駅寺子屋 しての活用や、大学のサテライト教室、商 の子どもたちに勉強を教えるおさらい塾との寺子屋として、学生が先生になって地元 いうことで江戸時代 空き店舗の活用 の開催、 陶芸教室、市民が講師となる

市内

す。

年以上にもわたり企

げるイベントとなっ学生と一緒に創りあ ベント「ナイトバザー としたお客様還元イ る幸せ」をコンセプト 方に「100円で買え 毎月第2土曜日の夕 なっています。また ル」なども行っていま 生と一緒に創りある。 場とも 地域

での実践の場とており、学生の時

ナイトバザール



滋賀県彦根市 花しようぶ通り商店街 サポーター、 ひこね街の駅寺子屋力石 再興実行委員会

原田 正彦



所となっています。また戦國丸が主催する を始めとする全国の歴史愛好家の人気の名 廃業となった銭湯を改装して第2の街の駅

「戦國丸」を開業することとなり、戦国グッ

めとするたくさんの方々の強い希望により なって延焼を免れていたため、家主をはじ 強工事によって設置した耐震壁が防火壁と

「みんなの街の駅寺子屋力石」として復活さ

火災発生直後から地域内外の多数のボラ 再興に向けて動くことになりました。 にゃんぶ」)が次々と生まれました。そして にゃん」、大谷吉継がモデルの「おおたに みつにゃん」、嶋左近がモデルの「しまさこ

壁と寺子屋スペースは前年に行った耐震補

ズやキャラクターグッズ販売を行い、歴女





「寺子屋力石」再興プロジェクト

ひこね街の駅「寺子屋力石」 再興プロジェクト

http://chikaraishi.hanashobu.net/ 力石再興に向けた募金活動にご支援・ご協力いただける と幸いです。

- □座名「まちづくり結募金」 □座番号 ゆうちょ銀行 14620-22294441
- ・募金に関するお問い合わせ ひこね街の駅 戦國丸 TEL 0749-27-5058

います。
はじめ戦国武将たちの在りし日々を偲んで ラクターファンたちが駆けつけ、三成公を 国国石 [から800人を超える戦国ファン・キャ [イベントには「義の家臣団」 と呼ばれる全 田三成 の居 であった佐和山城跡 での 戦

になってしまいました。ただ道路に面する さんの方に愛された力石は見るも無惨な姿 焼失してしまったのです。長い歴史とたく 力石」が2011年1月2日に火災により がやってきました。第1の街の駅「寺子屋 しかし、私たちにとてつもなく大きな試

に、彦根市ゆかりの戦国武将キャラクターた手作り甲冑(かっちゅう)教室をきっかけ

武将キャラクター

さらに寺子屋力石の講座のひとつであっ

|義の三将」(石田三成がモデルの「いしだ

びました。

物の耐震補強の先進的事例として注目を浴 閣総理大臣賞」を受賞するなど伝統的建築

強事業は「第2回日本耐震グランプリ内 また市民・学生が協力して行った耐震 に人々が集う場

所としてにぎわっていま 催) など「学び」をテー

以上開

合い・相互扶助)の精神で、一度は焼けてく険しいですが、「新しい結」(ゆい:助け必要となるなど、再興に向けた道のりは長これから再築資金のための多額の募金が 思っています。 よう、「前へ前 しまった力石が新しいまちづくりの拠点と して心やコミュニティをつなぐ場となる

向かってがんばりたいと



寺子屋力石